

会 議 結 果

会 議 名	平成 29 年度 第 1 回西尾市地域自立支援協議会
日 時	平成 29 年 6 月 23 日 (金) 午後 2 時 00 分～3 時 50 分
場 所	西尾市役所本庁舎 53ABC 会議室
出 席 者	別紙委員 18 人 (欠席者 1 人 : 山本委員) 糟谷地域支援部会長、藤田子ども部会長、福岡就労支援部会長、岡田権利擁護部会長 増山副市長、事務局…福祉課 (大西次長、杉山、高須、杉浦) 西尾市社会福祉協議会相談支援事業所 (池田、岡田)、相談支援センターあると (伊澤、眞辺、松園)、めだか工房相談支援事業所 (鈴木、福田)
傍 聴 者	0 人
主 な 議 題	1 平成 28 年度相談支援事業実績について 2 平成 28 年度地域活動支援センター事業実績について 3 平成 28 年度担当者部会実績、及び平成 29 年度担当者部会活動内容について
結 果 等	<p><u>(1) 各事業所の平成 28 年度相談支援事業実績について報告</u></p> <p>○西尾市社会福祉協議会相談支援事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加要因として18歳未満の相談件数前年比1.4倍、軽度発達障害による放課後等デイサービスの利用希望者増加、相談内容の複雑なケースの増加で行政との連携が必要となり、施設入所・就労の支援も増加のため。 ・相談種別として身体障害と重症心身障害で9割弱、高次脳機能障害が前年比5.2倍と高い伸び。 ・課題としては医療的ケアの必要な障害児の利用できるサービスがない。 <p>○相談支援センターあると</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加要因として共働き世帯から時間外相談の増加、特に放課後等デイサービス利用による18歳未満児世帯が増加。 ・課題として障害児支援利用計画を作成できる相談支援事業所・専門員が少ない。世帯全体で支援の必要なケースの増加。相談が夏休み前と年度末に集中する。 <p>○めだか工房</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加要因として相談件数は精神、発達障害が大幅増、ハローワーク、関係機関、医療機関からの紹介も増加、内容は福祉サービス、生活技術、就労、家族・人間関係、不安・情緒安定等の順となっている。 ・課題として旧三町地区の相談件数が少ない、精神科病院退院後の支援のための関係機関との情報共有・連携強化など。 <p><u>(2) 平成 28 年度地域活動支援センター事業実績について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体験談の発表の場の増加、生産・創作活動の収益の還元等により参加者の増加を図った。 ・旧三町地区の参加者増加のため地区内に活動の場や支援機能の設置を考えていく。 <p><u>(3) 平成 28 年度担当者部会実績、及び平成 29 年度担当者部会活動内容 (案) について</u></p> <p>◎平成 28 年度担当者部会実績…3 月開催の協議会で報告のとおり</p> <p>◎平成 29 年度担当者部会活動内容 (案) …以下の内容で活動予定</p> <p>◇地域支援部会 緊急時の対応について「やむを得ない事由」と「緊急時の定義」の明確化、地域の体制、研修会について検討していく。</p> <p>◇子ども部会 サービスを利用する保護者等のスキルアップのためサポートブックの活用、重症心身障害児の医療系サービスの実態の把握を行う。</p> <p>◇就労支援部会 「障害者雇用を考えるワーキング」で事業所と企業の知る機会とし、事業所間の意見交換の場と</p>

して部会をつうじて検討していく。

◇権利擁護部会

虐待、成年後見、差別解消等の実績報告、事例の提供の他、協議が必要な場合の W.T.の設置を検討する。